



CIG Photonics Japan株式会社

会社説明

Cambridge Industries Group（以下、CIG）は、2005年の設立以来、情報通信技術（ICT）の最前線で革新を続けてきたグローバル・テクノロジー・リーダーです。同社は、最先端のネットワーク機器の研究開発、設計、および高度な製造を一貫通貫で手がけており、世界中のデータ通信インフラを支えています。

CIGの主な製品ポートフォリオは、今日のデジタル社会において不可欠な4つの柱で構成されています。第一に「高速光トランシーバ」です。これはハイパースケールデータセンターやAI学習用コンピューティング群、5Gワイヤレスネットワークの基盤となるコンポーネントであり、CIGは業界に先駆けて次世代の高速通信技術を市場に投入しています。第二に「ブロードバンド関連製品」で、家庭や企業をインターネットに繋ぐ有線アクセス技術を提供。第三に「ワイヤレス関連製品」として、4G/5Gの小型セル（スモールセル）や屋外・屋内のアクセスポイントを展開しています。最後に「キャリアイーサネットとエッジコンピューティング」により、企業のネットワーク環境を最適化する高機能なスイッチングソリューションを提供しています。

CIGの最大の強みは、研究開発（R&D）とインテリジェント製造の高度な融合にあります。アメリカ、中国、日本、ドイツ、マレーシアに拠点を置くことで、世界中のクライアントのニーズを即座に汲み取り、柔軟なビジネスモデル（JDM/ODM/OEM）で対応しています。特に製造面では、最新の自動化技術と品質管理システムを導入し、複雑な通信機器の大量生産と高品質維持を両立させています。

また、CIGは持続可能な社会の実現に向けた社会的責任（CSR）にも注力しており、環境への配慮や倫理的なサプライチェーン管理を徹底しています。世界的なネットワーク需要が爆発的に増加する中、CIGは単なる「メーカー」に留まらず、次世代の接続性を定義する「テクノロジーパートナー」として、今後もデジタル・トランスフォーメーションを加速させる役割を担い続けます。日本市場においても、CIG Photonics Japanを通じて、日本の高い技術基準に応えるソリューションを展開し、国内の通信環境の進化に貢献しています。

会社概要

本社所在地

中国

事業内容

ICT（情報通信技術）機器の研究開発、設計、製造。主な製品は、高速光トランシーバ（データセンター・AIインフラ・5G向け）、ブロードバンドアクセス製品（有線ネットワーク）、ワイヤレスアクセス製品（アクセスポイント・小型セル）、キャリアイーサネットおよびエッジコンピューティング機器。

代表取締役

小林 宣夫

設立年

2018年05月

資本金

非公開

従業員数

11 - 50人

URL

<https://www.cigtech.com/jp>

オフィス情報

メインオフィス

〒2400005

神奈川県 横浜市保土ヶ谷区 神戸町134